

令和2年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山短期大学

代表学生：道林桃香

指導教員：明柴聰史 講師

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>富山市あいの風呉羽駅～願海寺周辺の福祉防災対策に関する調査 (A 部門)</p>
<p>研究概要</p>	<p>富山市立老田小学校区内の防犯・防災対策に関する現状について、フィールドワークにより調査を実施。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300 字程度)</p>	<p>富山市立老田小学校区内の子供 110 番の家をマッピングにより可視化し子どもの防犯対策を理解する。また、避難所・商業施設等を対象に、フィールドワークを行い、高齢者、障害者、妊産婦、子ども子育て家庭のために災害時にどのような設備や機能があるのかについて、調査を行っている。調査の中で、施設等の現状を知り、地域の災害に対する備えや意識を知ることができた。また、通学している富山短期大学の学生を対象に防災意識に関する調査を行ったが、居住地でないため、地域の防災に関する知識は非常に少なかった。</p> <p>今後は、高齢者障害者にとって見やすい福祉防災マップと児童が身近に感じることができる防犯・防災マップを作成し、家庭でのコミュニケーションの一助となるようにする。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	<p>調査対象地域を「富山市あいの風呉羽駅～願海寺周辺」としていたが、願海寺を含む老田小学校区と限定し、範囲を狭めた。</p>

報告書をまとめるためにデータを入力している様子



調査対象施設の外観

